

# 生命倫理から考える医療安全

## 「個人の倫理」から「組織・システムの倫理」へ

当院の学術研修会において『生命倫理から考える医療安全』「個人の倫理」から「組織・システムの倫理」へ」と題し、東洋英和女学院大学の教授で前日本生命倫理学会代表理事・会長の大林雅之教授にご講演いただきました。倫理とは守るべきルールや規則を意味しますが、今回は、倫理と安全の関係についてお話しいただきました。



た。事故に関係していると言えます。係する各スタッフの様々な行動は、個人の倫理によるものでしょうか。あるいは個人の心理によるものでしょうか。どちらかというところ、個人の心理に焦点が当てられて分析が行われてきたかもしれない。

### 「倫理」と「安全」の関係

事故を倫理的側面から考えると、個人の責任の追及や個人の懲罰をイメージしますが、もちろん個人の問題もあります。組織（システム）の問題であることを重視し組織（システム）で学習する。それが医療事故防止へ繋がります。

### 「個人」と「医療安全」の関係

「人は誰でも間違える。だから事故は起きても仕方がない」。これでは事故を防ぐことはできません。個人の心理の問題だけに焦点をあてるのではなく、事故や人間の特性を知ることによって事故を防ぐことが重要です。事故を当事者のせいにして、個人に懲罰を与えてもシステムの医療事故はなくなりません。

### 「医療安全」の「倫理」

医療安全において、「倫理」との関係はないのでしょうか。組織（システム）の問題と捉えても、それに属する個人の責任は免れません。システムアプローチにおいても個人の責任は当然あります。よって医療安全においても個人の倫理は存在します。職業上の不正行為または職権乱用、過失、間違い、これらは個人の責任範囲と言えます。



近代社会では、専門職の資格は専門職集団が対応していくようになりました。専門職集団は、自分たちが専門知識と専門技術で責任をもつて社会に対応するべく、倫

### 「倫理」から「安全」へ

ある病院で起きた医療事故の事例から、倫理と安全について提起していただきます。

理綱領の必要性も高くなりました。パートナーリズム※な対応から、患者の権利を尊重するための専門職の倫理へ変化してきたと言えます。

### まとめ

「倫理」は、個人の責任を問うものと受け取られがちです。システムアプローチをとる「医療安全」においても「個人の責任」と

### 研修会に参加して

「保持すべき」という「倫理」が問われることとなります。そして「医療安全」は、組織・システムの「倫理」を問う「組織・システムの医療倫理」である。と、最後に締めくくられました。

精神医療においては、病状により患者自身の思考や判断能力が障害を受け、インフォームドコンセントが成立しない場合があります。精神保健福祉法には患者の意思によらない強制入院や行動制限などについて明記されており、それに則って治療や手続きを行います。しかし、法律という後ろ盾はあるものの、いろいろな局面で、患者にとってのベストとは何かを考えると、医療安全と倫理の関係が身近に感じられるような気がします。



「個人」の倫理は、個人の責任を問うものと受け取られがちです。システムアプローチをとる「医療安全」においても「個人の責任」と

す。個々のスタッフの個人的価値観、専門職としての価値観、文化的価値観、宗教的価値観などを根拠に、患者にとつてのベストをチームで話し合うこともあります。実はこのことが、倫理的に考えるということ（価値の選択）だと今回の研修会で教えていただきました。普段は意識をいたしません。私たちが倫理的に考えている過程は意外に多いのかもしれない。

**ワークサポート・プチパ 平岡2号店オープン**

ワークサポート・プチパでは、「就労移行支援事業」と「就労継続支援B型事業」という2つの就労系障がい福祉サービスを行っています。この2つの事業は共に利用者がサービスを利用するなかで得られる様々な経験（労働、コミュニケーション、成功・失敗体験等）を活用し、個々に自己実現（自己成長、目標達成、社会参加、QOL向上等）を図って頂くことを目的としています。



当事業所ではカフェ店舗（カフェ・プチパ）を運営しており、店舗運営に関連した業務を①ホール作業（接客、ドリンク作製、配下膳等）、②厨房作業（調理等）、③軽作業（小物製作、事務、宣伝物作成等）に分け、より多く利用者に作業へ参加して頂けるように作業科目（メニュー）を設定しています。カフェ店舗では、利用者様とスタッフが丸となって運営を行っており、ランチ、ドリンク、デザートメニューをはじめ、手作り雑貨等の販売も行っています。地域で親しまれているカフェ・プチパは、平成28年11月21日よりドリンク、デザートのカフェアウト商品を主体とした2号店『ボン・プチパ』をオープンしました。店内には一部飲食スペースがあり、2号店限定商品等も用意しています。

当事業所の詳細や活動内容等につきましては、ホームページまたはFacebook（petit pas-カフェプチパ）をご覧ください。（ワークサポート・プチパ 高柳 誠司）

見学・体験 お気軽に お越し下さい。

至大通 至千歳

★「カフェ・プチパ」（本店）  
住所：清田区平岡3条1丁目2-5  
TEL：011-887-5111  
営業時間：月～金（祝休）10：00～15：00  
（食事last 14：00ドリンク、デザートlast14：30）  
◎店舗電話予約可 ◎駐車場あり  
◎中央バス平岡営業所より徒歩4分

★「ボン・プチパ」（2号店）  
住所：清田区平岡1条5丁目3-5 平岡ドクタータウン内  
TEL：011-887-5757  
営業時間：月・火・金（祝休）10：00～14：00  
◎店内一部飲食スペースあり ◎駐車場あり